

2023年4月7日(金)

日本映画放送株式会社

新・時代劇！映画「仕掛人・藤枝梅安」第二章へ突入！ 豊川「この仕事は僕に**たくさんのものをもたらしてくれた**」

仕掛人・藤枝梅安2

4月7日(金)初日舞台挨拶レポート



時代小説の大家・池波正太郎の生誕100年を記念し、二部作で製作された新作映画『仕掛人・藤枝梅安』。

2月3日(金)に公開された第一作では、多くのファンから厚い支持を集め、大きな話題を呼んだ本作が、本日4月7日(金)に待望の第二作公開を迎えた。東京・丸の内ピカデリーでの上映後に開催された舞台挨拶では、主役の藤枝梅安を演じた豊川悦司をはじめ、片岡愛之助、菅野美穂、そして第二作のゲストである佐藤浩市、椎名桔平、一ノ瀬颯、本作でメガホンをとった河毛俊作監督が登壇し、会場に集まったファンへ感謝を伝えた。

舞台挨拶では、豊川は「2カ月前に前作を見ていただいて、『もうあれから2カ月がたったのか』と時の流れの速さに戸惑うような感じです。この仕事は僕にたくさんのものをもたらしてくれました。久しぶりに同世代の俳優さんたちとガッツリ芝居をすることができて本当に幸せな時間でした」と心情を明かし、続いて愛之助は「(今作の共演者たちは)初めましての方ばかりだったのですが、皆さん本当にお優しく、当時のお話をたくさん伺い、勉強させていただきました。」と撮影を振り返った。

また、第二作のゲストである佐藤は「(登場人物の)背景的なものを語ってしまうのは、実はお客さんにとっては退屈なシーンなんです、それがそういうふうに見えない映画になっていると思いますし、観客の皆さんがそれを見て感情移入できる作品になったと思います」と語った。

一方、菅野は佐藤との共演について「浩市さんが現場に入られると、緊張感がある雰囲気、場がピシッと引き締まるんです。これだけのキャリアがあるのに丸くならず、芝居場に対する情熱と誠実さにすごく引っ張っていただきました。私もゆくゆくはそういうふうに演技や現場での付き合いで若い方に伝えられるようにになりたいと思いました。」と明かすと、佐藤「俺、機嫌が悪かったんじゃない？(笑)」と照れ隠しのコメントで笑いを誘った。

さらに、今作が時代劇初挑戦の作品となった一ノ瀬は「戦隊モノでデビューしたので、アクション自体はやったことがありますが、時代劇は腰の落とし方一つとっても違うので難しさはあるだろうと思ったのですが、アクションチームの方々に助けられてなんとかいい感じに映っていればいいなと思います」と告白。そんな一ノ瀬について佐藤は「最初は『(時代劇)できるの？』と思っていたんですけど、見ていると『時代劇をやるんだ！』という覚悟が立ち居振る舞いに出ていたので、『(殺陣のシーンで)あと、みんな斬っという！』とお願いしたくらい(笑)」と独特の言い回しで称賛した。



●藤枝梅安 役 豊川悦司コメント

浩市さん、桔平ちゃんと「3人足したら一体何歳になるんだろうね」と話しながら、冬の京都で楽しく待ち時間を過ごしました。
この仕事は僕にたくさんのものをもたらしてくれました。
久しぶりに同世代の俳優さんたちとガッツリ芝居をすることができて本当に幸せな時間でした。
またこういう作品に巡り合えて、創意工夫しながら皆さんにお届けできるよう、頑張っていきたいと思います。



●彦次郎 役 片岡愛之助コメント

(今作の共演者たちは)初めましての方ばかりだったのですが、皆さん本当にお優しく、「そうだったのか。(昔の撮影現場は)厳しかったんだなあ」という当時のお話をたくさん伺い、勉強させていただきました。



●おもん 役 菅野美穂コメント

浩市さんが現場に入られると、燃えるような緊張感のある雰囲気で、その場がピシッと引き締まるんです。大先輩でこれだけのキャリアがあるのに、丸くならず、芝居場に対する情熱と誠実さに、すごく引っ張っていただきました。私もゆくゆくはそういうふう演技や現場での佇まいで若い方に伝えられるようになれたらいいなと思いました。



●井上半十郎 役 佐藤浩市コメント

半十郎とおもんが対峙するシーンは、男と女の“ずっと抱えているもの”が吐露されるというか、そういうものが見えてくることで、僕自身の梅安との関わり方が全部逆算して見えるシーンでした。あのシーンがうまくいったおかげで、多くを語らなくても全部が見えてくるようになったので、大変楽しくやらせていただきました。菅野さんもしっかり受け止めてくださって、僕自身もやりやすかったです。



●峯山又十郎／井坂惣市 役 椎名桔平コメント

悪いだけの役といえばそうなんですけど、
「悪いんだけど、こいつにもいろいろあったんだな」というような何かを、
どこかににじませることができればなと思って演じました。
愛ちゃんは本当に愛らしいので、
痛めつけるのは非常に心苦しかったのですが、そこは頑張りました(笑)。



●佐々木八蔵役 一ノ瀬颯コメント

皆さん現場ですごく優しく、温かくしてくださったおかげで
自分らしく撮影に臨めたと思います。
皆さんの立ち居振る舞い、一挙手一投足、一言一句、纏っている空気が
役の過去を想起させ、すごく説得力のあるものにされていたので、
「僕の目指すべき場所はこういうところなんだ」と
皆さんが体で示してくださいました。

【映画「仕掛人・藤枝梅安㊀㊀」公開情報】

第二作:本日4月7日(金)より新宿ピカデリーほか全国劇場にて公開中!

第一作:一部劇場にて公開中 ※現在は、日本国外向け配信サービス

サムライ バース ニンジャ
SAMURAI VS NINJAで世界40か国に配信中!

【「仕掛人・藤枝梅安」公開・配信情報】

- 一部劇場にて公開中
- 「座頭市」など往年の名作時代劇を世界に発信する有料配信サービス「SAMURAI VS NINJA」にて、日本国外40か国で配信中。
※配信対象国は順次拡大予定
※「SAMURAI VS NINJA」は日本国外配信サービスのため、国内ではご視聴いただけません。



【「仕掛人・藤枝梅安2」公開情報】

- 本日4月7日(金)より新宿ピカデリーほか300を超える全国劇場にて絶賛公開中!

■池波正太郎生誕100年企画「仕掛人・藤枝梅安㊀㊀」

【出演】豊川悦司 片岡愛之助 菅野美穂 小野了 高畑淳子 小林薫

●第一作ゲスト:早乙女太一 柳葉敏郎 天海祐希

●第二作ゲスト:一ノ瀬颯 椎名桔平 佐藤浩市

【原作】池波正太郎『仕掛人・藤枝梅安』(講談社文庫刊)

【スタッフ】

監督:河毛俊作

脚本:大森寿美男

音楽:川井憲次

エグゼクティブ・プロデューサー:宮川朋之(日本映画放送)

プロデューサー:吉條英希(日本映画放送/関西テレビ放送)

田倉拓紀(日本映画放送)

高橋剣(東映)

製作プロダクション:東映京都撮影所

【配給】イオンエンターテイメント

【宣伝】日本映画放送/クオラス/イオンエンターテイメント/時代劇パートナーズ

【映画公式サイト】 baian-movie.com

【映画公式 Twitter】 @jdigk_partners



©「仕掛人・藤枝梅安」時代劇パートナーズ42社